

◆ 平成29年度事業計画

1、はじめに

昨年度は夢ネット大船渡創立10周年事業や復興ニューズ合本号の発行など節目にふさわしい事業を行うことが出来ました。しかしながら三鉄盛駅舎活用事業の終了に伴い、28年度で盛駅運営を止めることにしたのは、長期の運動方針の欠如であったと反省をしなければなりません。

2、組織

昨年度末正会員44名、賛助会員13名、団体賛助会員3団体と、過去最高の会員数でした。今年度も会員を継続して頂き、会員の英知を持って運営をします。
毎月第1月曜日午前10時から、会員集会を夢ネット大船渡事務所で開催します。

3、被災者生きがい支援事業「手芸講習」

平成24年4月から開催しています手芸講習は、29年3月末で延べ837回、6,600人の参加となりました。夢ネット大船渡の中心的事業となっています。

- (1) 大船渡市内は昨年度に引き続き復興庁からの助成を受けて、毎月15ヵ所を目標に開催します。

開催場所、①居場所ハウス ②上平^{アト} ③川原^{アト} ④赤沢^{アト} ⑤宇津野沢^{アト}
⑥みどり町^{アト} ⑦長洞仮設 ⑧長谷堂東^{アト} ⑨下欠東^{アト} ⑩関谷^{アト}
⑪後の入仮設 ⑫鳥沢^{アト} ⑬綾姫ホール ⑭所通^{アト} ⑮

- (2) 陸前高田市は現在岩手県共同募金会へ助成申請中です
現在ボランティア的に以下の場所で開催しています。

① 滝の里仮設 ② 栃ヶ沢仮設 ③ 水上団地 以上は毎月開催
② ④ 西下団地 ⑤ 中上仮設 以上は隔月開催

- (3) イベント開催

岩手県共同募金会へイベント4回の開催を申請中です。

- ① 災害公営住宅での食べ物を提供しながら踊りやマジック披露を7月～9月に3回開催する。
② 災害公営住宅の皆様をお誘いし、甫嶺駅周辺のコスモスの花見へ貸切バスを利用し、甫嶺地域の皆さんとの交流を兼ねて実施します。

4 被災地再生事業

積水ハウス㈱からの助成を受けて、三陸鉄道沿線の被災地を花で蘇らせる事業を行います。菜の花やコスモスの種を蒔き、スイセンや彼岸花を育てながら、菜の花から油を生産することや、養蜂家育成の可能性について調査・検討を行う事業です。

6月には、6月末には菜の花の刈り取り、種の生産を行います。

6月末からスイセン球根の「寄付受付」を行います。

7月には、コスモスの種を蒔きます

9月には、菜の花の種蒔き 鹿対策工事を行います

10月には、コスモスの花見を行います。

この間、甫嶺まちづくり委員会の皆様との話し合いも行います。

5 パソコン講座開催

猪川地区公民館を会場に、毎週木曜日の午前と午後の2コースで開催します。

6、BDF 復興に向けた取り組み

今年度も「廃食油の回収⇒精製⇒利用」の循環態勢を築くために、環境パートナーシップいわてと連携し、エコクッキングの開催、関係団体との学習、環境フォーラムの成功等に努力します。

6、広域連携「スポーツ特区」設置に向けた取り組み

陸前高田市の NPO 法人再生の里ヤルキタウンの熊谷理事長からの要請を受けて、「三陸気仙広域連携スポーツ特区推進準備協議会」の構成団体となりました。

気仙の復興へ長期的立場から、各自治体で全スポーツ施設をしかも公認出来る施設を作ることは財政的にも問題であり、その維持費も大変であることから、国や民間の援助を受けるための特区制度を活かした財政づくりによる分担的施設整備、さらには国内大会や国際的大会開催可能な施設や受け入れ態勢をつくるのが、後世への復興達成であるとの判断から、今年度は次の取り組みに参加します。

スポーツ特区とは勉強会や講演会開催へ参加します。

7、大船渡市民活動支援センターの運営委員

大船渡市民活動支援センター運営、日本政策金融公庫による「ソーシャルビジネスネットワーク」結成への協力、いわて中間支援ネットワーク参加

8、県内外の支援団体をコーディネート

① 大阪の元気人間製造研究所

三鉄盛駅待合室の置いていましたお地蔵様を、三陸町越喜来の末音崎湾望台へ移設します。設置費を現在検討中です

③ 駅からウォーク

新年度から「ふれあいウォーキング」との名称として発足し、毎月1回(原則第3土曜日)開催しますので、その協力を行いまう

④ 無料法律相談

当面次回は7月に行う予定です

⑤ マジック講習並びに披露

夢ネット大船渡の事業から生まれた「マジックサークル」今年度も夢ネット大船渡事業と連携し地域の方々に喜んで頂くようにお世話します

9、その他 創意工夫による被災者支援等を行います